

目指せ！図書館マスター

図書館マスターだより

2022年9月
塩尻市立図書館
編集



第7期図書館マスター認定！

図書館マスターって？

図書館マスターは本や司書、図書館全体について学び、司書の仕事を体験してもらう講座です。

今年は13人の受講生が全7回の講座を修了し、図書館マスターに認定されました。

回	日付	テーマ
第1回	6/12(日)	開講式、 図書館の本のならば方
第2回	6/19(日)	1冊の本が図書館の本 になるまで①
第3回	7/3(日)	1冊の本が図書館の本 になるまで②
第4回	7/10(日)	カウンターの仕事と 本の修理
第5回	8/7(日)	図書館マスターだより
第6回	8/21(日)	おすすめ本のPOP
第7回	9/4(日)	ビブリオトーク 修了式

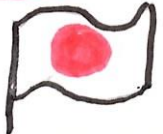
- ・図書館マスターの開講式
- ・図書館で働く司書の仕事について



図書館の本は どんなふうにならんでいる？

- ・図書館に本を並べるための分類法「日本十進分類法」を知ろう
- ・本のならべ方を理解しよう
- ・実際に本棚へ行って確認しよう

平岡 穂月

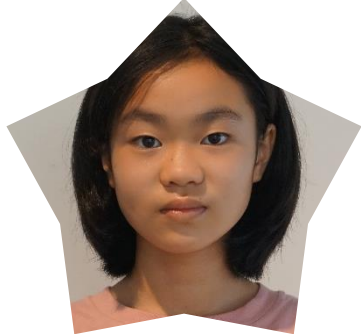
プロの司書でもおずかしい!?
日本十進分類法! 

私が、この図書館マスターで一番印象に残ったのは「日本十進分類法」です。

分類についてはいちおう知ってはいたのですがあまり気にしたことがなかったので、いざ習うとなるとかなり難しかったです。辞書みたいなぶあつい本を使って、辞書みたいに引きました。その本は図書館専用の辞書みたいだと思いました。図書館の人は分類を全部は覚えていないそうですが、少しでも覚えているのがすごいです！

日本十進分類法を学んで、学校の図書館は9から始まる本が多いことに気がつきました。なぜだろう？





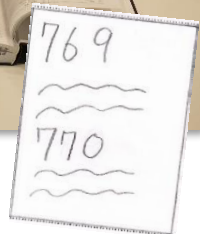
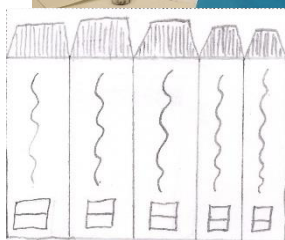
小澤 咲奈

769
ア

とても細かい!

日本十進分類法

私が一番心に残ったのは日本十進分類法を初めて知ったことです。日本十進分類法とは、本を並べるための決まりです。もともと本に分類があることは知っていたけど、すごく細かく、一つ一つに意味があるとは知らなかったのびびっくりしました。日本十進分類法が書いてある本を使って分類を調べるのはむずかしかったけど、とてもおもしろかったです。これからは、日本十進分類法のことを思い出してラベルを見たり、図書委員の活動にもいかしていきたいなと思いました。



みんなで調べた本を、本棚に返しました！



1冊の本が図書館の本になるまで①

- ・見計らいと選書会議をして、どの本を買うかみんなで決めよう



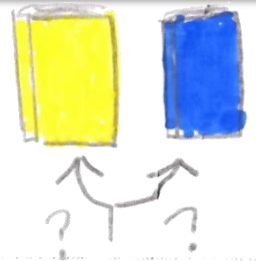
¥10000

一万円

山口 知輝

本はこうして選ぶ!!

ぼくが一番印象に残ったのは、見計らいと選書会議です。見計らいでは、実際に本を読んで、本の内容などを見て、図書館に入れる本を決めました。選書会議では、みんなで話し合って、予算やみんなの意見で決めました。ぼくは、見計らいと選書会議をした中で、図書館の本は、こんな感じで選んでいるんだな～と思いました。これから本を読む時には、この本はいつ入ってきたのかな～、図書館の人たちが頑張ってくれたんだな～と思いながら読みたいと思います。



藤原 菜

すーくやむ!! 選書会議

わたしが難しかったのは、見計らいと選書会議です。最初はひとりでいっぱいある本の中から数冊を選んで、どの本を買うかみんなで話し合います。一人で選ぶのでとてもなやんだのに、みんなの意見を聞くと、もつとなやんでしまいました。どれもいい本ばかりだったので、選ぶのが難しかったです。次から本を借りるときは「これ面白くなさそう」とか思わずに、ちゃんと選書会議で選んで買ったものなので、いろんな本を借りて読んでいきたいです。



藤原 海羽



ただ選ぶだけじゃない!! 大事な選書会議

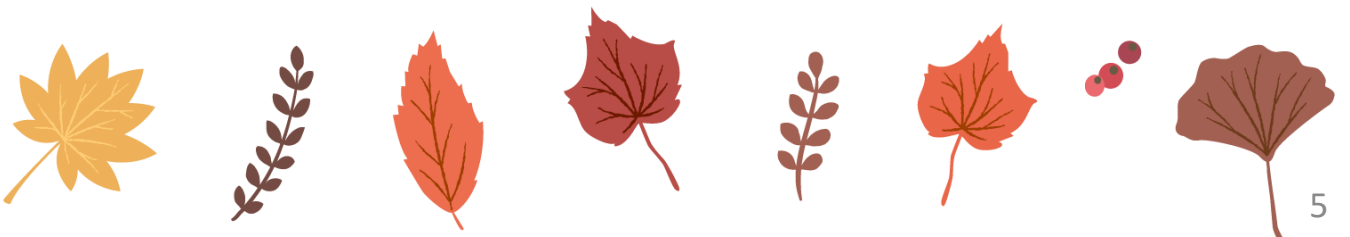
わたしは、第3回目・第4回目が1番大事だと思っています。

選書会議とは、本を図書館に入れる前の段階にすることで買う本を決めます。そのときに、ただ適当に選ぶだけでは買ってもらうことができません。ちゃんと理由みたいなものを作ってから買います。だからみんなが読んでおもしろい!と思ってもらえるといいなと思いながら本を選びました。本を選ぶときも、話し合うときも思ったよりおもしろかったです。

読む人のことを考えて作業してくれている人がいることがわかったので今度からいままでよりもっと大事に本を使うようにしたいです。



副館長からハンコをもらって、無事に選んだ本の起案が通りました!



1冊の本が図書館の本になるまで②

- ・買うことになった本の「装備」をしよう
- ・ラベルをはってブッカーをかけよう
- ・本の登録と検収をして棚にならべよう



島立 庵

見ているよりも難しい

ブッカーかけ

ぼくが一番難しいと思った作業は、ブッカーかけです。

ブッカーかけは、本を長く使ってもらえるようにしていることを知りました。はさみやのりなどを使って本にブッカーをていねいにかけました。ブッカーかけは、本とブッカーの間に空気が入らないように、ハンカチを使っておさえながら、少しずつ進めていくのは、お手本を見たときよりも難しいと思いました。

この作業を司書の方が一冊ずつ手作業でやっていると考えるととても大変だと思いました。これからは、もっとていねいに本をあつかっていきたいです。



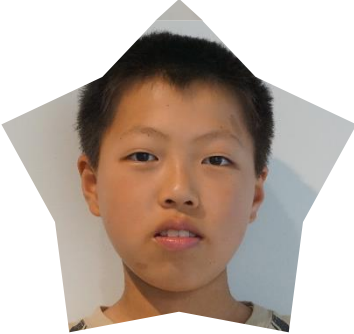
藤巻 ベンジャミン 和輝



ハンカチ大司書役! ブッカーかけ

ぼくが一番思い出に残っているのは、ブッカーかけです。ブッカーかけには、ハンカチが必要だということを知って、とーってもびっくりしました。ということは、ハンカチは、まるで、本とブッカーかけの縁の下の力持ちです。ハンカチを持っているからこそ、本は、いままで長持ちしていることが分かりました。なので、図書館にきれいなハンカチを持っていくことは、とーっても大事だということがよく分かりました。もし、大人になって、図書館の職員になったら、毎日、きれいなハンカチを図書館に持っていきたいと思います。





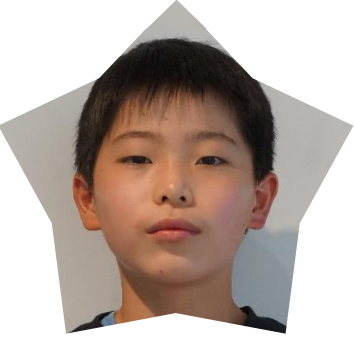
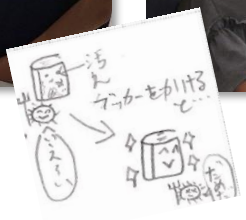
鈴木 友悠



本が棚に並ぶまで!

僕が『目指せ! 図書館マスター』で一番心に残ったのは、本の見計らいから登録までの流れです。特に選書会議は、グループで話し合ったり、「なぜこの本を選ぶのか」を説明することに、とてもワクワクしました。選書会議とは、一人一人の本の希望を元に複数人で集まり図書館に入れるか入れないかを決める大事な会議のことです。

また、装備も面白かったです。装備とは、本にブッカーと呼ばれる本を守るカバーをかける作業のことです。この作業では、ブッカーをかけるときに空気が入ってはいけませんが、どうやっても、何を使っても入ってしまいます。10分の格闘の末、ついに上手くできました。これだけ時間と手間をかけて作っている本だから、大切に扱っていきたいです。



中村 洸貴

百年本の冒険 ~序~

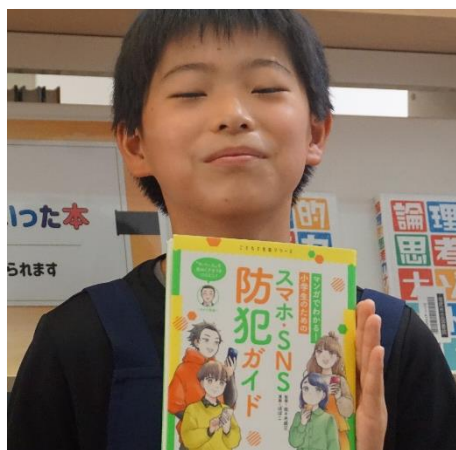
図書館に無限にあるように思える本。今も増え続けている本。では、どこからどのように来ているのでしょうか。

初めに、書店から本が届きます。その本たちの中から、読み手が読みたいと思う選ばれし本を見つけます。この作業は、本たちが自分を選んでくれ、と叫んでいて、断腸の思いで選びました。

その選ばれし本たちに、百年以上ずっと本を守る「ブッカー」をかけていきます。熟練の司書さんたちは心を込めていねいにすばやくブッカーをかけます。その技術に、つい感嘆の声をもらしてしまいます。

一連の作業が終わると、ようやく晴れて図書館の本となります。百年の歴史は続きます。



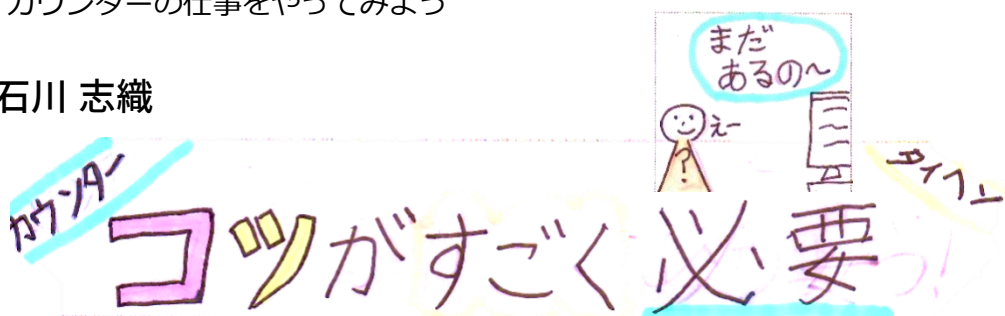


選書会議で選んだ本を、ひとり1冊ずつ装備しました！
 自分で装備した本と一緒に記念写真📷 みんな上手にできたかな？

カウンターの仕事と本の修理

- ・本の構造を学び、本の修理方法や取りあつかい方を学ぼう
- ・カウンターの仕事をやってみよう

石川 志織



わたしが一番心に残ったのは、カウンターの仕事です。

貸出のとき、一番上の本をひっくり返すなんてしりませんでした。前から見ていたけれど、そんなことをやっているなんてわかりませんでした。こんなことをやるなんてコツが必要だと思います。あらためて「司書は大事なんだな〜。」と思いました。

つぎに、お客さんがいないときもやるがありました。ゆっくりできるかと思いきや返却が終わった本をもう一度読み込むことを知りました。

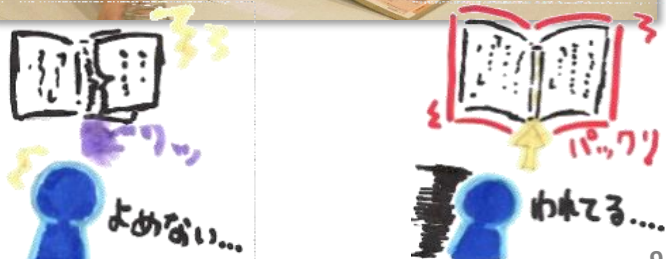
カウンターの仕事は見ているものとはちがいました。でもやりがいのある仕事だと思いました。



小山 杏奈



本がこわれてしまうのは、仕方が無いことです。ページがやぶれてしまったり、本をとじている所がパッキリと割れてしまったりと、本はこわれやすい紙なので、本当に仕方が無いことです。ですが、たったそれだけのために、本を買いかえるのは少しもったいないです。もちろん、どうしてもなくぼろぼろの場合は買いかえることもあります。本をとじている場所が割れてしまったりと、少しのこわれなら修理をします。先ほども書いてあるように、本をとじている所が割れてしまったとき。これは、特別な接着剤を筆でいねいに塗って、乾かします。このように未来の利用者さんが気持ち良く本を読むために、修理をいねいにしていきます。





北沢 知夏子

利用者さんと関わった カウンターの仕事

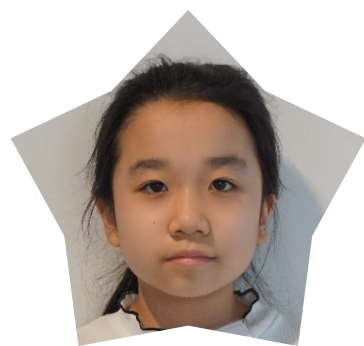


私が一番やって楽しかったと思ったのは、カウンターの仕事です。

カウンターの仕事は、自分で思っていたよりも大変でした。パソコンの操作は難しいし、利用者さんに背を向けてはいけないなどのマナーもたくさんありました。

そんな時、利用者さんの中には、私の返却作業が終わるまで、あたたかい目で見守ってくれていた人もいました。私は今まで、返したらそのまま行ってしまったけど、利用者さんの中にはこんなやさしい人もいたんだと気付かされました。

これからは、カウンターで借りたり返したりするときは、カウンターの職員さんに感謝して、図書館を利用したいと思います。



佐藤 里咲

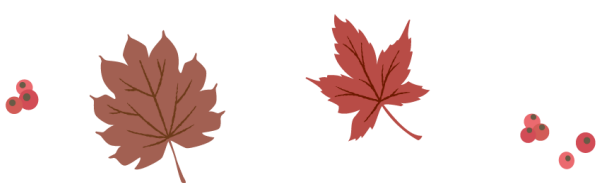
本を大事に最後まで使う工夫



わたしが一番心に残っているのは、本の修理です。司書さんに教わりながら、本のわれてしまった部分に「本を修理するのり」を少しずついねいにつけました。司書さんはページがとれてしまった本などを、一冊一冊ていねいに直して下さっているそうです。わたしはこのことを聞いて「本を修理するって、大切なことだなあ」と思いました。なぜなら、修理をすれば、また図書館の利用者さんに本を読んでもらえるからです。本を大切に使えば、修理する必要もなくなります。

わたしは、この回を通して本を大切に、最後まで使いたいと思いました。

カウンター体験・本の修理挑戦！



図書館マスターだよりを作ろう

- ・図書館で発行しているおたよりから「広報」の大切さを知ろう
- ・これまで学んできた講座をふりかえって、マスターだよりの記事を書こう



図書館マスターで一番心に残ったこと、楽しかったこと。みんなしっかり記事を書いてくれました！

おすすめ本のPOPを作ろう

- ・本と人をつなぐための手段のひとつであるPOPを作ろう
- ・図書館の中にはどんなPOPがあるか見てみよう



どんなPOPが出来上がるか楽しみです！

ビブリオトークをしよう！ 修了式

- ・ビブリオトーク発表
- ・図書館マスター認定書交付

ビブリオトークとは？

1人、または数人で本を紹介する技法

(「読み聞かせを活用したビブリオトーク」より)

今回はみんなの
おすすめの本を
1冊ずつ、POPと
いっしょに紹介
してもらいました

ビブリオトーク 発表本一覧(発表順)

タイトル	著者名	出版社
本好きの下剋上 第5部8 女神の化身	香月 美夜	TOブックス
医学のたまご	海堂 尊	理論社
イカル荘へようこそ	にしがき ようこ	PHP研究所
ツシマヤマネコ飼育員物語	キムファン	くもん出版
本好きの下剋上 第1部1 兵士の娘	香月 美夜	TOブックス
危ない誕生日ブルーは知っている	藤本ひとみ	講談社
時間割男子	一ノ瀬三葉	KADOKAWA
ロウリーのいい子日記 親友グレッグの伝記	ジェフ・キニー	ポプラ社
魔法使いは完全犯罪の夢を見るか？	東川篤哉	文藝春秋
のぞく図鑑 穴	宮田珠己	小学館
ジュニア空想科学読本⑦ 角川つばさ文庫	柳田理科雄	KADOKAWA
ピクトさんの本	内海慶一	ビー・エヌ・エヌ新社

図書館マスター生の感想！

書庫や図書館の中などをたくさん見られて、同じ本を知ってる人に会えて、とっても楽しかったです！



学校では学べないようなものが学べた。本を読んだり図書館に来たりしたときに思い出したい。




本を傷つけないためや、守るためにできることがあるとわかったし、図書館や司書のことを楽しく知れて楽しかったし、うれしかったです。




いつも読みたいと手に取っていた本が「色々な過程で棚に並んでいる」と知り、大切に本を扱いたいと思いました。また来ます！







全部を通して、本の楽しさを知って、みんなに広めたいです。またビブリオトークをやりたいです。(今度はじょうずに)



マスターをやる前は本が入る前は簡単ですぐ終わるっていう感じかと思っていたけど、いろんな人が関わっているということがわかった。これからも本を大切に読んでいきたい。



カウンターでの仕事、本の修理などのここでしか知れないこともたくさん知ることができてよかったです。友達にも本の楽しさを広めていきたいです。



ブッカーがけが楽しかったです。空気がたくさん入ったけど、ブッカーをかけるのが、すばやくできて、よかったです。

楽しかったです。たくさんいい人がいてよかったです。新しい本も知れてよかったです。



ぼくは、目指せ！図書館マスター講座を通じて、本や図書館のことに学ぶことができました。なので、これからは、今までとはちょっとちがう気持ちで本を読みたいです。



ふだんにげなく図書館を利用していただけども、この図書館マスターをやって図書館の裏側を知れてよかったです。



全7回の講座全部楽しかったです。この機会を通して、学校でもビブリオトークなどをやってみたいです。



ビブリアトークと修了式も無事に終わりました～！ みんなよく頑張りました♪



館長からのメッセージ



第7期「目指せ！図書館マスター」を受講した13人の皆さん、認定おめでとうございます。司書のさまざまな仕事を体験し、多くのことを学べたと思います。

ビブリオトークの舞台に立った皆さんは、緊張しながらも堂々と楽しそうに本の魅力を語ってくれていて、一人ひとりが輝いていました。

図書館の楽しさや本の魅力を周りに広めていくことが、図書館マスターの役割です。皆さんの活躍を期待しています。

そして、本との出会いは、これからの人生を豊かにしてくれます。たくさんの本を読み、将来への夢を広げていってください。

図書館長 上條史生



編集後記

この図書館マスターだよりは、目指せ！図書館マスター第5回の「図書館マスターだよりを作ろう」の中で作成されました。マスター生たちが講座の中で一番印象に残ったことをもとに原稿やイラストを書いてくれています。

図書館マスターを通して、どんなことを学んだか、感じたか。思い思いの記事になっていますので、図書館マスターに興味がある子や保護者の方にも読んでいただきたいです。

2022年9月発行 塩尻市立図書館



子ども
の本の
寺子屋

信州おじ

